

科目コード	記号	科 目 名	学年	単位・時間	必修・選択	授業形態	単位種別
2467	BS27	会計学原理:Principle of Accountitng	4B	2・100分	必修	通年・講義	学修単位
教 員 名		田川 晋也:TAGAWA Shinya					
授 業 概 要	企業が公表する財務諸表がどのようなプロセスを経て導出されたかをこの1年間で考えていく。講義では、会社を設立して営業を行っていくのに応じて、必要になる会計の知識と会計処理について説明する。企業が行う取引を会計がどのように記録していくかについては、簿記の編集を行って確認する。また、必要に応じて時事問題を取り上げどのようなことが会計上問題になっているかを議論する。						
	到 達 目 標			評 価 方 法		評価配分	
	1. 会計情報の作成過程を説明できる			①中間テスト		40%	
	2. 日商簿記1級2級レベルの仕訳、会計処理ができる。			②期末テスト		40%	
	3. 財務諸表から企業の状況、業績を読み取ることができる。			③レポート		20%	
学習・教育目標		(C)①		JABEE基準1(1)		(d)-(4)	
授 業 計 画	前 期			後 期			
	回	項 目	内 容	回	項 目	内 容	
	第1	会計の種類・役割	財務会計と管理会計	第16	有価証券	保有目的別評価	
	第2	財務会計の法規制	金融商品取引法、会社法、法人税法の規制	第17	デリバティブ①	デリバティブ部の期末評価	
	第3	財務情報の性質	有用性、信頼性など	第18	デリバティブ②	ヘッジ会計	
	第4	企業の設立	資本金、繰延資産	第19	ストック・オプション	ストック・オプションの会計上の性質	
	第5	企業の資金調達	自己資本、他人資本	第20	外貨換算会計①	外貨建金銭債権債務の換算、為替予約	
	第6	営業循環と棚卸資産	先入先出法、平均法、棚卸減耗、低価法	第21	外貨換算会計②	在外支店、在外子会社の会計処理	
	第7	売上の認識と測定	実現主義、発生主義、現金主義	第22	企業活動と税金	課税所得に関する計算	
	第8	中間まとめ	中間まとめとして試験を実施する	第23	中間まとめ	中間まとめとして試験を実施する	
	第9	引当金会計	引当金の要件、返品調整引当金	第24	税効果会計	繰延法と資産負債法	
	第10	退職給付引当金	退職給付引当金と退職給付費用の算定	第25	剰余金の分配	剰余金分配規制	
	第11	固定資産	減価償却	第26	財務諸表の体系	貸借対照表と損益計算書	
	第12	減損会計	臨時償却、臨時損失、減損会計	第27	キャッシュ・フロー計算書	資金の範囲、直説法と間接法	
	第13	リース会計	リース取引の分類と会計処理	第28	連結財務諸表①	連結消去仕訳	
	第14	研究開発費	研究開発費の費用化、ソフトウェアの償却	第29	連結財務諸表②	セグメント情報	
	第15	まとめ	全体の学習のまとめを行う。	第30	まとめ	全体の学習のまとめを行う。また、授業評価アンケートを行う。	
関連科目		簿記概論Ⅰ、簿記概論Ⅱ、工業簿記論、財務諸表論					
教 科 書		財務会計入門(桜井久勝、須田一幸共著・有斐閣)					
参 考 書		ゼミナール会計学入門(伊藤邦雄著・日本経済新聞社)					
授業評価・理解度		最終回到授業評価アンケートを行う					
副担当教員							
備 考		必要に応じてプリント教材を配布する					